

GLORY

第72期
報 告 書

平成29年4月1日から
平成30年3月31日まで

GLORY REPORT

グ ロ ー リ ー レ ポ ー ト

P.3 トップメッセージ

次の100年に向けた新たな一歩として、
『長期ビジョン2028』を策定いたしました。

P.1
特集

創業100周年
— GLORY製品開発の軌跡 —

P.7
トピックス

GLORY NOW

P.9

会社情報

アンケート
実施しています

P.10

株主メモ

「絶えず世の中にないものをつくり続ける」という精神。

1918年(大正7年)に創業したグローリーは、国産初の硬貨計数機を開発して以来、通貨処理機のパイオニアとして世界100カ国以上へ事業を拡大してまいりました。

「絶えず世の中にないもの、社会の役に立つものをつくり続ける」という創業時より受け継いだ精神で、これからも時代に求められる価値の創造に挑戦し、社会の発展に貢献してまいります。

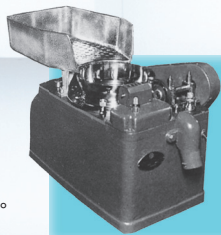


1950
(昭和25年)

硬貨計数機

国産第1号

大蔵省造幣局に納品された、
硬貨を数えるシンプルな硬貨計数機。
ここから当社は、
通貨処理機メーカーとしての道を
歩むことになります。



1953
(昭和28年)

民間向け硬貨計算機

国産第1号

カウンターに設置しやすいよう、
小型・軽量化。
国産初の民間向け硬貨計算機として
爆発的な人気を呼び、
グローリーが全国の金融機関から
注目されるきっかけとなりました。



1958
(昭和33年)

たばこ販売機

国産第1号

硬貨を必要枚数投入し、
レバーを引くとたばこを投出する自動販売機。
この他、ガムや食券などさまざまな種類の
自動販売機を手がけました。



1974
(昭和49年)

紙幣帯封機

国産第1号

金融機関の業務で欠かせない紙幣の
帯封作業を自動化した製品。
水溶性のテープを採用し、1束を3秒で帯封。
ステレオのようなユニークなデザインで、
キャッチフレーズは
“クリーン・スピード・ビューティフル”。



1918
(大正7年)

国栄機械製作所 創業

電球の製造装置を修理する工場として事業をスタート。
自社製品の開発を志し、
後に国産第1号製品を数多く世に送り出しました。

1992
(平成4年)



硬貨レジつり銭機

国産第1号

レジスターと連動して預かり金を計数し、つり銭をすばやく払い出す製品。
レジ業務の効率化ニーズを捉え、
現在では、スーパーマーケットを中心に幅広い業態に普及しており、「紙幣レジつり銭機」と併せ当社の主力製品の1つとなっています。

1986
(昭和61年)



オープン出納システム

国産第1号

当時、専任の担当者が行っていた出納業務を無担当で行う新しいスタイルを実現した製品。

今日では、金融機関の業務を効率化・厳正化する製品としてなくてはならない存在であり、当社の主力製品の1つとなっています。



2011
(平成23年)

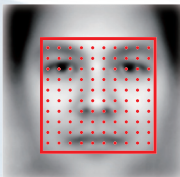
海外向けレジつり銭機

日本で普及する「レジつり銭機」のノウハウを活かした海外向け製品。
お客さま側に向け設置することでセルフ精算が可能に。
流通店舗のレジ業務の効率化・厳正化に大きく貢献する製品です。

2003
(平成15年)

顔認証システム

顔の表情や経年の変化があっても、高精度で瞬時に個人を識別し特定できる顔照合技術。
個人認証の新たな手段として注目を集めました。
当社の照合精度は業界トップクラスを誇ります。



2017
(平成29年)

オープン出納システム 「WAVE A50シリーズ」

最上位モデル「WAVE Pro」と同等の機能を搭載したまま設置面積を2/3*に縮小した省スペースモデル。
小規模・少人数店舗を運営する金融機関のニーズに応えています。

*WAVE Pro P32TとA52Sの比較



次の100年に向けた新たな一歩として、『長期ビジョン2028』を



株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

当社は、本年3月に創業100周年を迎えました。株主のみなさまのご支援に深く感謝しております。当社グループは、次の100年も絶えず世の中にないもの、社会の役に立つものをつくり続け、より安全、安心、確実な未来の社会の実現に貢献してまいります。

代表取締役社長

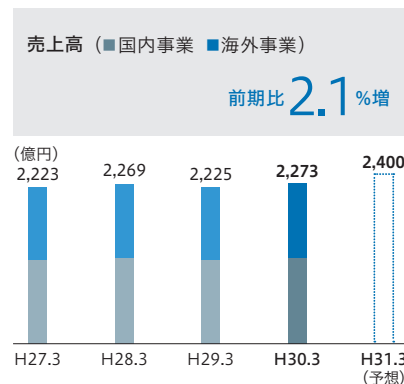
尾上 広和

●『2017中期経営計画』を振り返り

業績目標は未達ながら、成長戦略を着実に推進いたしました。

当社グループは、平成27年4月からの3ヶ年を計画期間とする『2017中期経営計画』において、“「顧客起点のモノづくり」による事業成長と収益性向上”を基本方針に掲げ、成長戦略の推進と収益力の強化に取り組んでまいりました。

海外市場においては、市場の特性に応じた地域別戦略を積極的に展開いたしました。米国では、金融市場向け「紙幣入金機」の更新需要を確実に獲得し、欧州では、各国の流通市場において「紙幣硬



策定いたしました。

貨入出金機」等の販売を拡大いたしました。また、アイルランドにおける販売代理店を買収するなど販売網の拡大も図りました。

国内市場においては、主要製品である「オープン出納システム」や窓口用「紙幣硬貨入出金機」の更新需要を獲得するとともに、コンビニエンスストア向け「レジつり銭機」を市場投入し、販売の拡大を図ってまいりました。

一方、企業体質の強化にも注力し、生産の自動化や技術のプラットフォーム開発の推進など、生産及び開発効率の向上に努めてまいりました。

その結果、平成30年3月期につきまして

は、売上高は2,273億円、営業利益は196億円、海外売上高比率は47%、ROEは5.3%と、いずれも『2017中期経営計画』の目標に至らず、収益面での課題が残りしました。

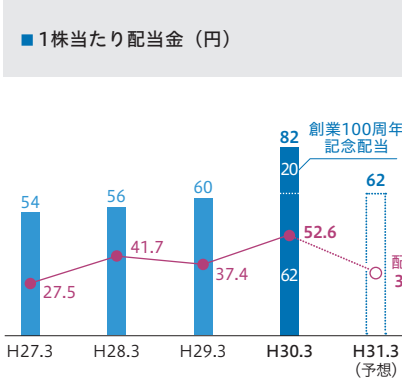
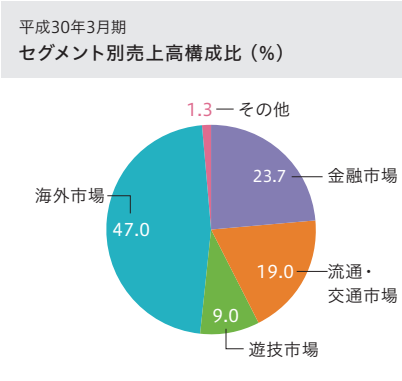
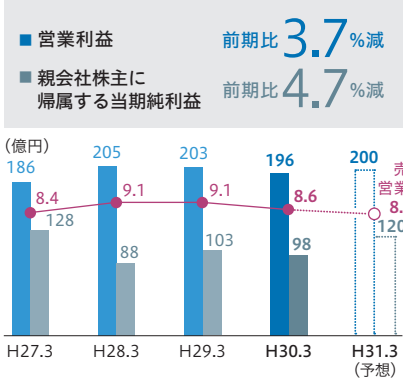
●『長期ビジョン2028』について

既存の通貨処理機事業に加え、新たに、通貨流通、決済、個体認証、自動化社会の4つの事業を推進してまいります。

当社は、決済手段の多様化によるキャッシュレス社会への移行、仮想通貨をはじめとするフィンテック市場の伸張、AI・ロ

ボット技術の進化、そして国内の少子高齢化による労働生産人口の減少など、今後10年間に起こりうる社会的課題やテクノロジーの進化を世界規模で予測したうえで、10年後の「ありたい姿」として、『長期ビジョン2028』『人と社会の「新たな信頼」を創造するリーディングカンパニーへ』を策定いたしました。

当社はこれまで、主に通貨の真偽や正損を認識・識別する技術によって、安全、安心な社会づくりに貢献してまいりましたが、未来の社会においては、より安全でシームレスな決済手段や、あらゆるシーンで自分自身であることを瞬時に証明する仕組みなど、「新たな信頼」が求められるよ



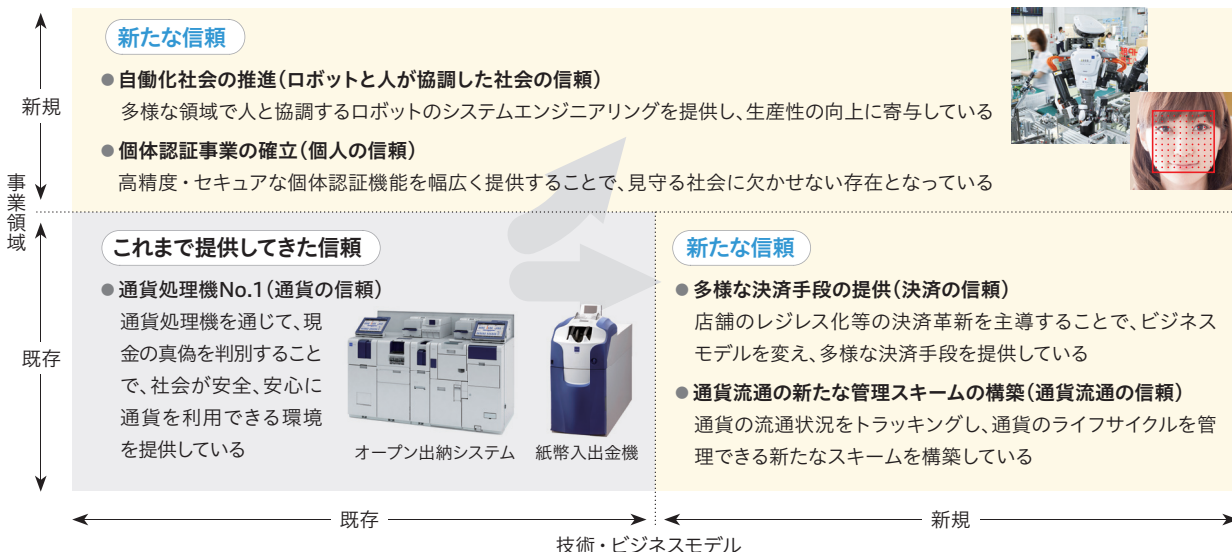


GLORY 2028 長期ビジョン2028

Glory Group Long-Term Vision

人と社会の「新たな信頼」を創造するリーディングカンパニーへ

連結業績目標(2028年3月期) 売上高 5,000億円規模



GLORY 2020 2020中期経営計画

Glory Group Medium-Term Management Plan

連結業績目標(2021年3月期)

売上高	営業利益	営業利益率	ROE
2,600億円	250億円	9.6%	8.0%
(H30.3実績比+14%)	(同+28%)	(同+1.0pt)	(同+2.7pt)

〔方針1〕既存事業

持続可能な事業運営の基盤づくり

- 海外事業: 金融事業の再成長と流通事業のさらなる加速
- 国内事業: ソリューション提案の推進

〔方針2〕新事業

社会課題解決に向けた協働の取組み強化

- 新事業ドメインの推進
- 新たなコア技術の獲得
- 新事業に対する積極的な経営リソースの配分

〔方針3〕経営基盤

成果に直結する生産性の向上と企業体質の強靱化

- 働き方改革、業務改革による生産性の向上
- オープンイノベーションを実現するための組織風土改革

うになると予想しています。当社は、あくなきチャレンジ精神と、通貨処理の枠を超えた先進の技術によって、安全、安心、確実な社会の実現を目指してまいります。

『長期ビジョン2028』では、従来の通貨処理機事業に加え、「通貨流通の新たな管理スキームの構築」、「多様な決済手段の提供」、「個体認証事業の確立」、「自動化社会の推進」の4つの新たな事業ドメインに取り組めます。これらの実現に向け、当社のコア技術である「認識・識別技術」、「メカトロ技術」において他社の追随を許さない圧倒的な技術を追求するとともに、新たなコア技術として多種多様な情報を分析・活用する「データアナリティクス技術」の獲得にも注力いたします。また、積極的に他社との連携を図り、オープンイノベーションを推進してまいります。

●『2020中期経営計画』について

『長期ビジョン2028』の実現に向けた第1ステップとして、『2020中期経営計画』を策定いたしました。

当社は、『長期ビジョン2028』の実現に向けたステップを3つに分け、第1ステップである本年4月からの最初の3ヶ年を計画期間とする『2020中期経営計画』をスタートさせました。本計画は、“長期ビジョンの

実現に向けた仕込み”と位置づけ、次の3つの方針を掲げております。まず1つ目は「持続可能な事業運営の基盤づくり」です。国内外の既存事業に磨きをかけ、通貨処理機事業の再成長を図ってまいります。2つ目に「社会課題解決に向けた協働の取り組み強化」として、長期ビジョンで掲げる4つの新事業ドメインを推進いたします。3つ目は「成果に直結する生産性の向上と企業体質の強靱化」とし、前述の2つの方針を支える経営基盤の強化を図ってまいります。初年度となる平成31年3月期につきましては、既存の通貨処理機事業の拡大に加え、本年4月に設置した新組織である「ビジネスイノベーションセンター」を中心に、国内・海外の枠にとらわれないイノベーションの探求や、新たなビジネスモデルの創造と模索に注力し、新事業ドメインの推進を行ってまいります。

●ステークホルダーのみなさまへ

創業100周年記念配当を実施。
これからも企業価値向上に取り組んでまいります。

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要課題と位置づけ、将来の事業展開に備えた財務体質の維持・強化を図りつつ、安定した配当を継続すること



を基本方針とし、連結配当性向30%以上を目標に配当を実施することとしております。この方針に基づき、期末の配当につきましては、1株あたり31円に、創業100周年の記念配当20円を加えた51円とさせていただき、中間配当金31円を加えた年間配当金は82円となりました。次期の配当につきましては、1株につき62円(中間配当金31円、期末配当金31円)とさせていただく予定です。

当社が創業100周年を迎えられましたのは、株主をはじめとするステークホルダーのみなさまの長きにわたるご支援の賜物であります。当社はこれからも、持続的な企業価値の向上を通じ、みなさまへの責任を果たしてまいります。今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

世界各国で、銀行や流通店舗の業務改革とお客さまの利便性

国内新製品トピックス

税公金の入金をセルフ化し 窓口業務の削減に貢献

税公金ステーション〈FKR-100〉を開発

金融機関の窓口業務の約20%、市役所等の派出所では最大約80%*が、税金・公共料金等の払込みに関する業務に費やされています。税公金ステーション〈FKR-100〉は、サイズやフォーマットの異なる税公金の納付書を瞬時に認識するとともに、領収印部への押印と領収書部のカットを業界で初めて自動化し、税公金の入金のセルフ化を実現しました。窓口業務が大幅に削減されることで、金融機関は資産運用等の付加価値の高い業務に人材を振り分けることができ、また、お客さまの待ち時間短縮にも貢献します。

*当社調べ



印鑑イメージの高精度なデータ化と 伝票のペーパーレス化を実現

光学式印鑑スキャナー〈FMN-10〉を開発

金融機関の窓口では、お客さまが押印した伝票を受け取ったあと、伝票をスキャナーで読み取り、あらかじめ登録されている印影と照合していますが、朱肉の付き方や押圧等の影響により、照合に時間がかかることがあります。光学式印鑑スキャナー〈FMN-10〉は、印鑑の印面の凹凸を直接読み取るため、押圧等の影響を受けず、高精度な印鑑イメージで印影の照合を行うことが可能です。さらに、伝票のペーパーレス化も実現します。

〈FMN-10〉は、平成29年2月より株式会社三井住友銀行様で試験的にご導入いただいております。今後は全店に導入される予定です。

向上に貢献しています。

海外導入事例

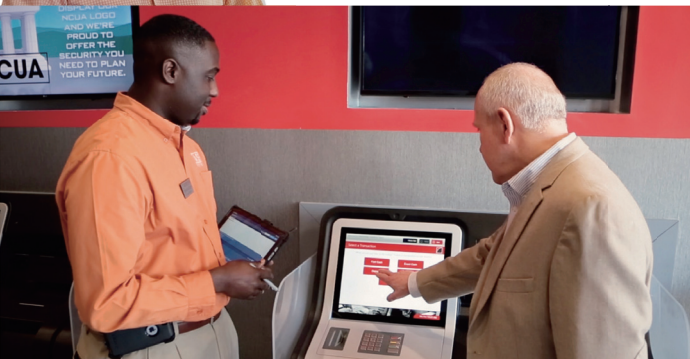
店舗のサービス向上に貢献し 成長戦略をサポート



米国の信用組合「Alabama State Employees Credit Union (ASE)」は、成長戦略の推進による店舗拡充を進めています。ASEでは、お客さまの増加により多様化するニーズに応えるため、紙幣・硬貨・小切手等幅広い取引が可能なセルフ紙幣硬貨入出金機「TellerInfinity™」を導入。わずか4名のスタッフでの店舗運営が可能になっただけでなく、融資業務や口座開設といった顧客対応に集中できるようになり、収益向上につながりました。

「TellerInfinity™」は、スタッフとお客さまとの関わりを深める手助けをしてくれています。グローリーは、私たちのニーズを汲み取り成長戦略をサポートしてくれる大切なパートナーだと考えています。

Alabama State Employees Credit Union
ジェアード フリーマン
CEO Jared Freeman様



現金管理を効率化し お客さま対応の時間確保に貢献



スペイン、マドリードのビジネス街にある青果店「The Fruits of the World」では、多い日で1日300回も行われる現金の授受や、管理業務を効率化する方法を模索していました。また、店員が紙幣や硬貨に触れた手で商品を扱うことも、衛生面で課題となっていました。そこで同店では、来店客自身が代金を精算するセミセルフ方式に対応した現金管理システム「CASHINFINITY™」を導入。現金のスピーディかつ正確な受け渡しが可能になるとともに、レジの締め作業の時間も短縮され、コスト削減につながっています。また、現金管理の負担軽減により店員が接客に集中できるようになり、生産性も大幅に向上しました。



会社情報

(平成30年6月27日現在)

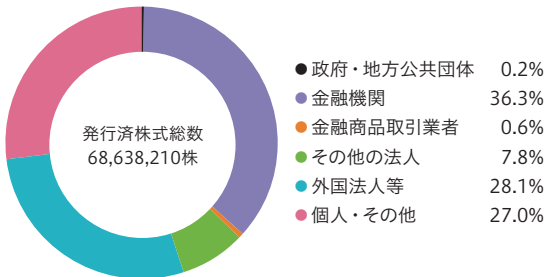
会社概要				
商 号	グローリー株式会社 GLORY LTD.			
設 立	昭和19年(1944年)11月27日			
資 本 金	12,892,947,600円			
ウェブサイト	http://www.glory.co.jp			
従 業 員 数	3,314名(連結 9,040名) (平成30年3月31日現在)			
本 社	〒670-8567 兵庫県姫路市下手野一丁目3番1号 TEL:079-297-3131(代表)			
事 業 所	本社・本社工場 (兵庫県姫路市) 東京本部 (東京都千代田区) 品川事業所 (東京都品川区) 埼玉工場 (埼玉県加須市) 姫路物流センター (兵庫県姫路市) 支店等 9支店、39営業所、30出張所、 3サービスセンター			
グループ会社	52社(うち海外39社)			

役員一覧				
取 締 役	代表取締役社長	尾 上 広 和		
	代表取締役副社長	三 和 元 純		
	取 締 役	尾 上 英 雄		
		馬 淵 成 俊		
		小 谷 要		
		原 田 明 浩		
監 査 役	社 外 取 締 役	佐 々 木 宏 機		
	常 勤 監 査 役	井 城 讓 治		
		長 島 正 和		
監 査 役	社 外 監 査 役	藤 田 亨		
		中 上 幹 雄		
監 査 役	社 外 監 査 役	濱 田 聡		

株式の状況 (平成30年3月31日現在)

発 行 可 能 株 式 総 数	150,000,000株
発 行 済 株 式 の 総 数	68,638,210株 (自己株式 5,931,205株を含む)
株 主 数	6,386名(前期比 591名増)

所有者別株式分布状況



大株主 (平成30年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本生命保険相互会社	3,427	5.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,290	4.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,567	3.7
株式会社三井住友銀行	2,100	3.1
グローリーグループ社員持株会	2,049	3.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,760	2.6
タツボーファッション株式会社	1,500	2.2
JP MORGAN CHASE BANK 385174	1,185	1.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,140	1.7
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	1,118	1.6

(注) 上記のほか、当社が所有している自己株式5,931,205株があります。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券コード	6457
公告方法	電子公告によります。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 [公告掲載URL] http://www.glory.co.jp
株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関 (各種お問合せ先／郵便物送付先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL: 0120-094-777(通話料無料) 受付時間 9:00～17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)
(ウェブサイトアドレス)	https://www.tr.mufg.jp/daikou/

ご注意

- 1.株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取扱いいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主のみなさまの声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は3分程度です。

当社では、株主のみなさまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケートのご回答期限: 2018年7月31日

ご回答いただいた方にはもちろん「当社オリジナル 今治タオルハンカチ」を進呈させていただきます。
※4色のうち1色が届きます



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6457

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。
(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00～17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

GLORY 100TH ANNIVERSARY NEWS

新聞・駅などに記念広告を掲出

グローリーの眼は、 ごまかせません。

おかげさまで、創業100周年

見分けるチカラで、未来を守る。



出典：国土印刷局



テレビコマーシャルを放映

高精度な識別技術で、ホンモノ・ニセモノを見分けるグローリー。
“見分けるチカラ”で、社会の安心を支えつづけるグローリーの使命をCMでお伝えしました。



CMストーリー

長谷川博己さん扮するMr.グローリーの周囲に次々と現れる偉人(福沢諭吉、樋口一葉、野口英世)たち。彼らは、グローリー100周年のメモリアルソングに合わせ、踊っています。しかし、その中には・・・？ ホンモノの中に一人だけ紛れ込んだニセモノをMr.グローリーが見逃すことはありません。



当社ウェブサイトでご覧いただけます。
QRコードを読み取り、是非ご覧ください。

